



SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年10月10日
事業者名:	NP0法人白川郷自然共生フォーラム

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	宿泊を伴う自然体験教育をトヨタ白川郷自然学校にて通年提供。 白川村の自然と文化に敬意を持つツーリズムの推進。 白川村の景勝地ともなっている湿地（大窪池）の保全活動。		⑮陸の豊かさを守ろう、 ④質の高い教育をみんなに、 ⑪住み続けられるまちづくりを	大学生対象「SDGs担い手育成講座」（定員20名×4回/年）を2021年より継続運営。 プログラムへの参加者数約11000人/年（2025年度）。20年間で約25万人の参加者。 湿地の保全活動4回/年で9年間継続。	指標	参加人数
					目標	2030年まで学生対象講座の継続（10年継続）。
社会	地元義務教育学校の授業への全面的な協力。		④質の高い教育をみんなに、 ⑪住み続けられるまちづくりを、 ⑮陸の豊かさを守ろう	全生徒対象のサバイバル教育（6年間かけて災害時の自助共助の力を育む教育）の実施。	指標	教育活動の継続
					目標	継続20年
経済	白川村にて事業の継続		⑧働きがいも経済成長も、 ⑰パートナーシップで目標を達成しよう	法人設立より事業を止めることなく21年間存続していること	指標	事業の継続
					目標	職員を減らすことなく事業を継続すること（30名で今後20年）
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 重点事項をミッションとして明文化し、職員への周知徹底を図っている。				
						
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 大学生対象「SDGs担い手育成講座」（定員20名×4回/年）の実績レポートを公開。 https://toyota.eco-inst.jp/news/2025-sdgs-ninaiteikusei/				